

平成 30 年 7 月 20 日 (金)
愛知県公立大学法人 愛知県立大学
担当 学術情報部 研究支援・地域連携課
上嶋・加藤
電話 0561-76-8843

共生社会の時代を生きる —教育と福祉はどう支援できるのか—

愛知県立大学は、地域社会への貢献や生涯学習に向けた取組の一つとして、これまでに蓄積された研究成果を広く社会に還元するため、以下のとおり公開講座を開催いたします。ぜひ多くの方々にお越しいただきたく、貴社でお取り上げくださいますようお願い申し上げます。

【題 目】2018 年度 愛知県立大学 生涯発達研究所 連続講演会

「共生社会の時代を生きる—教育と福祉はどう支援できるのか—」

第 1 回 異文化介護を考える

第 2 回 若者と居場所をつくる 日欧のユースワークの現場より

第 3 回 映画『さとにきたらええやん』上映および監督講演

【概 要】愛知県立大学生涯発達研究所の連続講演会として「共生社会の時代を生きる—教育と福祉はどう支援できるのか—」をテーマに 3 回講演を行います。

なお、第 1 回は TSM (多文化ソーシャル・ムーブメント)、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、愛知県立大学多文化共生研究所との共催事業であり、申込方法が異なるため、別にチラシがあります。

【詳 細】日時・場所・申込方法・講師・定員は各回で異なります。
別紙チラシをご確認ください。

【参加費】無料

【主 催】愛知県立大学生涯発達研究所

【共 催】愛知県立大学地域連携センター

【取材等問合せ先】

愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3
電 話 0561-76-8843
E-mail renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

2018年度 愛知県立大学 生涯発達研究所 連続講演会

共生社会の時代を生きる —教育と福祉はどう支援できるのか—

2018年
9/1(土)
13:00~16:00

第1回 愛知県立大学 サテライトキャンパス(名駅 ウィンクあいち15階) 異文化介護を考える

報告者: 朝倉美江(金城学院大学教授)、藤井克子(愛知県
高齢者生活協同組合専務理事)ほか

定員50名(入場無料)。なお第1回については、TSM(多文化ソーシャル・ムーブメント)、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、愛知県立大学多文化共生研究所との共催事業です。

2018年
10/12(金)
16:10~17:40

第2回 愛知県立大学(長久手キャンパス) 学術文化交流センター・ 多目的ホール

若者と居場所をつくる 日欧のユースワークの現場より

講演者: 平塚真樹(法政大学教授・総長室長)

定員100名(入場無料)

2018年
11/23(金・祝)
13:30~16:00

第3回 愛知県立大学(長久手キャンパス) 学術文化交流センター・ 多目的ホール

映画『さとにきたらええやん』 上映および監督講演

定員100名(入場無料ですが、必ず事前に申し込みをしてください。
事前申し込みのない当日の入場は、できない場合があります。)

お問い合わせ・申し込み先

第1回については TSM事務局(tabunka.social.movement@gmail.com)、
第2回および第3回については 愛知県立大学地域連携センター(renkei@bur.aichi-pu.ac.jp)、
の各 eメール・アドレスへ、氏名、所属、参加希望日、連絡先電話をご記入のうえ、お申し込みください。
定員に達し次第、締め切らせていただきます。

主催 愛知県立大学生涯発達研究所

共催 愛知県立大学地域連携センター

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522番3



多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)セミナー「多文化社会に流れる新しい風【第1回】」

生涯発達研究所連続講演会「共生社会の時代を生きる－教育と福祉はどう支援できるのか－【第1回】」

異文化介護を考える

今回のセミナーは、最近、少しずつ認識され始めてきた外国人高齢者問題をとりあげ、この問題が認識されるきっかけとなった「外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト」の取組を踏まえ、今後の外国人高齢者介護福祉の問題点や取り組み、対応策などについて話し合い、日本人も外国人も老後を暮らせる地域社会のあり方について、参加者とともに考えていきます。

日時

2018年9月1日(土)
13:00～16:00

場所

愛知県立大学サテライトキャンパス

愛知県産業労働センター「ウインクあいち」15階
(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

定員

50名(参加無料)

問合せ・申込先

tabunka.social.movement
@gmail.com (TSM事務局)

I セミナー開催の趣旨説明～外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクトを踏まえて～

II 報告

- ① 有識者：朝倉美江氏(金城学院大学教授)
- ② 施設：藤井克子氏(愛知県高齢者生活協同組合専務理事)
- ③ 行政：愛知県多文化共生推進室

III ディスカッション

主催：TSM(多文化ソーシャル・ムーブメント)、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、
愛知県立大学生涯発達研究所・多文化共生研究所

後援：

◎現在、愛知県内には、東京都に次いで2番目に多い24万人の外国人が住んでおり、年々、増加してきています。また、近年、フィリピン人、ベトナム人など、アジアの人たちが増加し続け、多国籍化が一層進展するとともに、今後も日本で生活する「永住者」の在留資格を持つ外国人が増え続けています。そこで、こうした変化し続ける多文化社会における新しい動きを伝えるとともに、共生社会の時代をどう生きていくかを考えるために、これからもセミナーを開催していきます。